



私のお気に入り

～#市長が訪ねてみる～

第27回

美土里町
道の駅「北の関宿」

続いてご紹介する公共の商業施設は、中国自動車道の高田ICに隣接する道の駅「北の関宿」です。意外と知られていないかも知れませんが、駅舎やトイレだけでなく、飲食・物販棟やコンビニも含めて市が2004年に建設した施設であり、運営は神楽門前湯治村と同じ第三セクターが担っています。

従来、こちらの三セクには約1,100万円^{※1}の指定管理料^{※2}が支払われていました。事業の採算が取れないため、市が赤字を補填している状態です。それが、様々な見直しを加えた結果、2023年度には約950万円へと縮小できました。今後も、好立地を生かし、さらに経営を改善していけると考えています。

その鍵を握るのは何と言っても「ながいきラーメン食堂」です。施設の奥の方、知る人ぞ知る場所にあります(笑)。自家製麺を使った看板メニューのラーメンや種類の豊富なおかずは、つい通いたくなる魅力を持っています。ちなみに、一番のオススメは「まぜ麺」です。よく混ぜてお召し上がりください!

※1 2019～2022年度の平均。

※2 公共施設の運営を代行する事業者に対して市が支払うお金。



建設時の総工費は約3億7千万円。



赤鶏の卵(¥80)を追加

ハイ! スクール

吉田高校と向原高校の
特色ある活動をシリーズで紹介します。

自分と向き合い言葉で表現する新しい学びの形

3年生の選択授業「国語表現演習」で、ユニークな学びが進められています。本の中身を紹介するポップ制作や、校内で撮影した写真にキャッチフレーズを付けるなど、“表現”に特化した取り組みです。発案したのは谷英城先生。「生徒のポテンシャルに驚かされることが多いです。自分に自信を持ってもらいたい」と話します。今年は、G7に関する本を題材にポップを作るコンテストで生徒の作品が「県立図書館特別賞」を受賞。また、向原駅の「図書空間2.0」で1人一冊ずつポップを書いて展示しています。今後はしおりを作り、「図書空間2.0」で使ってもらいたいとのこと。地域と連携しながら、表現の幅が広がっています。



広島県立図書館に
展示されました。

向原駅「図書空間2.0」の本を
紹介するPOP。



認定こども園を巡る問題点(2)

広報あきたがた2023年6月号では、認定こども園の整備に関する市の方針と議会の判断について説明しました。

今号では、市が示した移転・建て替えの必要性と、候補地が旧田んぼアート公園整備予定地となった経緯について詳しく説明します。

移転・建て替えの必要性

〈耐震性の課題への対応〉

移転・建て替えを必要とする吉田保育所・吉田幼稚園・みつや保育所のうち、吉田保育所は1981年6月の建築基準法改正前の「旧耐震基準」によって建設されています。2023年3月に耐震診断を行ったところ、施設の1方向が新耐震基準を満たしていないことが判明しました。建物の安全性の観点からも早急に移転・建て替えを進める必要があると判断しています。

なお、同じ吉田町内にある民設の可愛保育園・入江保育園も旧耐震基準で建設されている施設です。

旧耐震基準
震度5強程度の揺れに対して家屋が倒壊・崩壊しないという基準
新耐震基準
震度6強～7程度の揺れでも家屋が倒壊・崩壊しないという基準

〈吉田町内保育施設の状況〉

施設名	所在地	建築年月	設置	耐震基準	土砂災害特別警戒区域(レッド)	浸水想定(計画規模) ※80年に一度程度
吉田保育所	吉田町吉田	1980(昭和55)年	公設	旧耐震	○	
吉田幼稚園	吉田町吉田	1983(昭和58)年	公設	新耐震	○	
みつや保育所	吉田町吉田	2007(平成19)年	公設	新耐震		○
可愛保育園	吉田町山手	1979(昭和54)年	民設	旧耐震		
入江保育園	吉田町上入江	1981(昭和56)年	民設	旧耐震		

候補地を選定した経緯

〈安全の確保と財政の負担軽減〉

市は認定こども園を建設する候補地の選定にあたり、保育所規模適正化計画にある1小学校区1保育所の原則にのっとり、統合予定の3施設がある吉田町中心部で検討しました。もっとも、必要となる面積や災害のリスクなどを考慮すると、吉田町中心部では適地が見つかりませんでした。

そこで、対象地域を拡大して検討した結果、旧田んぼアート公園整備予定地が候補地として適合するとの判断に至っています。十分に広く安全な土地はこども園の整備において最も重要な要素です。また、財政面での負担を抑えられる点[※]は、将来世代にとって大きな意味を持ちます。加えて、周辺の道路が整備されており、駐車場が確保し易いという立地も好条件であると評価しました。

も園の整備において最も重要な要素です。また、財政面での負担を抑えられる点[※]は、将来世代にとって大きな意味を持ちます。加えて、周辺の道路が整備されており、駐車場が確保し易いという立地も好条件であると評価しました。

※田んぼアート公園整備事業では、すでに土地の購入と造成に約1億1千万円が投じられています。これ以外の場所にこども園を整備する場合、用地の確保に同様の費用が追加が必要となります。